

研究課題名	入院高齢患者における嚥下内視鏡検査スコアで評価した嚥下障害と栄養リスクの関連と転帰についての後方調査
研究期間	2022年6月6日～2027年12月31日
研究の対象	2020年4月から2027年3月までに当院耳鼻咽喉科で嚥下内視鏡検査を施行した65歳以上の患者さん
研究の目的・方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究目的: 当院では経口摂取開始の可否について嚥下内視鏡検査に委ねられている事が多いです。嚥下障害を引き起こす要因としては、脳卒中や神経変性疾患、頭頸部外科疾患が挙げられていますが、近年低栄養により嚥下障害を引き起こすことも明らかとなっています。先行研究の多くがスクリーニング検査で嚥下障害を抽出しているものが多く、嚥下内視鏡検査など詳細な検査で嚥下機能を評価したものは少ないです。そこで当院入院高齢患者における嚥下内視鏡検査スコアで評価した嚥下障害と低栄養リスク評価であるGNRI（Geriatric Nutritional Risk Index）との関連を明らかにし、加えて嚥下内視鏡検査サブカテゴリーと栄養スクリーニングで評価した低栄養の有無の関連を調査します。また低栄養リスクや嚥下障害の有無と在院日数や転帰についても考察し、栄養スクリーニングの有用性を示します。 ● 研究の方法: 研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（ALB）、嚥下内視鏡検査スコア、在院日数、FOIS、転帰先です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）
外部への試料・情報の提供	本学単独で実施する研究のため、外部への情報提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022年6月6日）以降随時。
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者監督のもと 保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 教授 竹野 幸夫
その他	

<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5566 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 言語聴覚士 吉川 浩平</p>
--------------------------------	--